

41066

教科書文庫

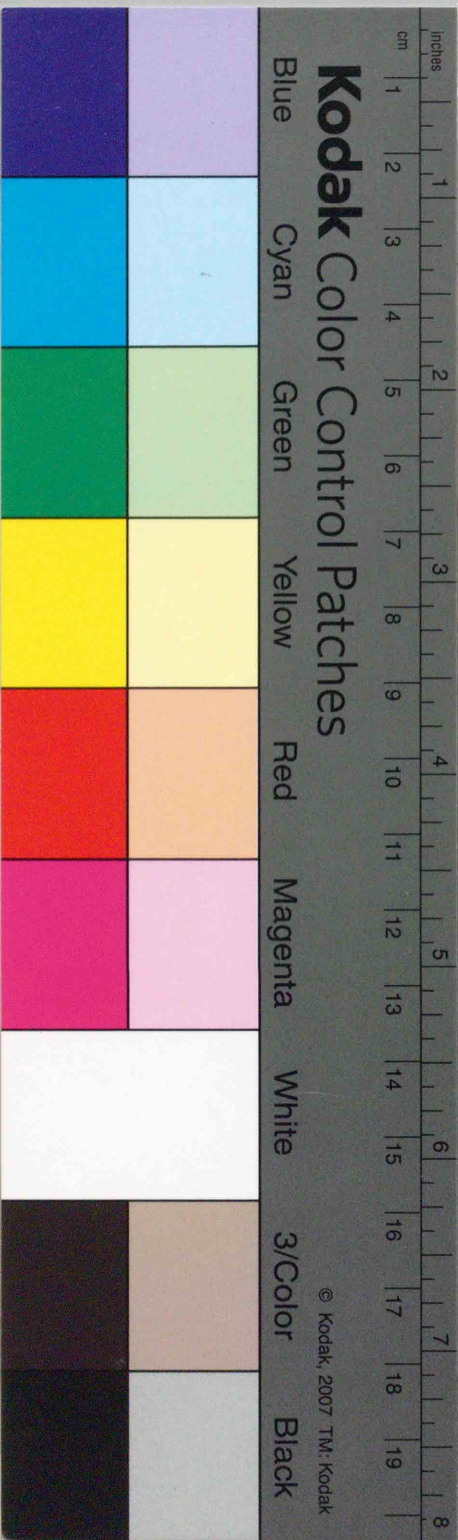
4

760

42-1943

01304  
49387

518



Kodak Gray Scale

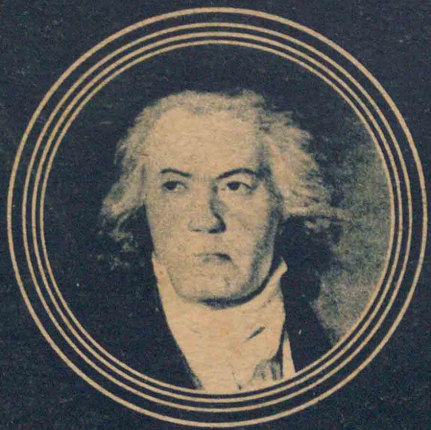
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak



文庫  
043  
9387



改訂

# 標準女子音樂教科書

黑澤隆朝  
小川一朗 共編  
林 幸光

広島大学図書

0130449387



## 第四編



中央図書館

広島大学図書

0130449387



教科書文庫

4

760

42-1943

0130449387

昭和十八年八月三日  
文 部 省 検 定 済  
高等女學校音楽科

# 改訂標準 女子音楽教科書

第四編

黒澤隆朝  
小川一朗  
林 幸光  
共編

広島大学図書

0130449387



明治天皇御製

あさみどり  
天  
澄みわたりに  
大空の  
廣きおのが  
心ともがな

あさみどり

編者謹作曲

♩ = 69.  
*mf*

あ さ み — — ど り す み わ た り —  
た る お ほ ぞ — — ら —  
の — ひ ろ き — を お の が  
こ こ ろ — と — も — が — な —

The musical score is written on four staves. The first staff begins with a treble clef, a key signature of one flat (B-flat), and a 3/4 time signature. The tempo is marked as ♩ = 69 and the dynamic as *mf*. The melody starts with a quarter note on G4, followed by a quarter note on A4, and then a quarter note on B4. The second staff continues the melody with a quarter note on C5, a quarter note on B4, and a quarter note on A4. The third staff has a key signature change to two flats (B-flat and E-flat) and a 3/4 time signature. The melody continues with a quarter note on G4, a quarter note on F4, and a quarter note on E4. The fourth staff has a key signature change to one flat (B-flat) and a 4/4 time signature. The melody continues with a quarter note on D4, a quarter note on C4, and a quarter note on B3.

## 巻頭のことば

本書は文部省の音楽教授要目に準據して、現代の女子師範學校並に高等女學校の音楽教科書として編纂されたものである。

本教科書の特長として擧げる事の出来るのは次の諸點で、之等は行詰まれる音楽教育界に必ずや偉大なる貢獻を齎すべきことを堅く信ずるものである。

一 歌曲の形式は一々重要な任務を有ち、易より難に極めて自然に排列せられてゐる。

歌曲の排列に當つては常に樂典知識の進歩と併進せしめる事に努め、音符の形態、リズムの形式、拍子、調等のあらゆる事項にいつて極めて綿密に考察せられ、前後よく連絡を保つてゐる。

二 歌曲にはなるだけ伴奏をつけ、生徒の音楽的陶冶に便にしてゐる。

言ふまでもなく音楽科に於ける歌曲教授は、聲樂的訓練をその目的の全部とするものでなく、常にその歌曲を中心として能ふ限り音楽的陶冶をなすにあるのである。その意味からメロディのみならず、常にハーモニーその他の音楽的條件を理解せしむる事に努力したのである。

三 歌曲の形式、及び之に含まれる音楽的要素の理解をはかる爲めには、基礎的練習、又は類似曲をあつめて之を参考曲、又は鑑賞曲として縦横自在にその徹底を期した。

練習曲は時間の都合により教授者の任意に待つものがあるが編者は最少限度と見て此等の練習曲を挿入したものである。又参考曲は正教材に準ずるもので、容易に自學し得べきものを之にあてた。

## 國華五章

明治天皇御製

小山田の畔のほそ道細けれどゆづりあひてぞしづは通へる

昭憲皇太后御歌

松が枝にたちならびてもさく花のよわき心は見ゆべきものを

八田知紀

いくそたびかきにごしても澄みかへる水や御國のすがたなるらむ

伊藤左千夫

國こそり心ひとつとふるひ立つ軍の前に火も水もなし

大須賀松枝

兵に召し<sup>つはもの</sup>いだされしわがせこはいづこの山に年むかふらむ

四 鑑賞曲は學習者の理解程度に應じ、聲樂器樂を通じて次第に世界的名曲に及び、國民の教養に必要と思はれる名曲は殆ど之を網羅した。

之は本書の最も力を注いだ新生面で、從來の音樂教育を唱歌教授の域から援ひたい意圖に出たものである。更に之を補ふ爲めに必要に應じ、次の二點に深甚なる考慮を拂つた。

五 曲の解説、樂器の圖解、作曲者の評傳等は勿論、音樂理解に必要な圖形寫眞を惜みなく挿入した。

六 歌詞の一字一音は常にメロディの性質によつて、極めて自然に音韻を配置した事。

之は從來殆んど顧みられざる一大缺陷であつた。此の考慮を缺く時は、如何なる名歌詞も支離滅裂の誹を免れない。

その他樂典の解説に就いては徒らに條文的の無味乾燥に流れる事を避けたこと、練習曲等には各々その學習の要點を指摘する事につとめた。

本書に収録された樂曲は、少數の編者作を除くの外は殆ど泰西の名曲で、然も日本の國民性に共鳴點の多いもののみを選び之に諸家を煩はして前述の如き歌詞を新作したものである。

終りに臨み鑑賞本位音樂陶冶主義に立脚して編纂した編者の意圖に賛同せられ、音樂教育更新の爲め、本書の使命をして意義あらしめる様希望して止まない次第である。

昭和六年盛夏

編纂者識す

## 改訂について

標準女子音樂教科書を世に問うて茲に六年、諸種の點に於いて改訂の必要を感じたので、全般的に大改訂を加へ、殆ど面目を一新せしめた。

勿論使用者諸彦の親切なる御建言をも率直に容れて之を考慮し、現代の音樂教育の上に萬遺漏なきを期した。

改訂にあつて特に注意したことは次の諸項である。

- 一、日本國民たるの榮ある自覺に於いて、音樂を學習すべきことを一層強調した。
- 二、教材歌曲を更に嚴選し、かつ獨唱曲その他多數の新しき歌曲を増補して一層選擇を自由にした。
- 三、隨所に〔参考〕欄を設け、自習又は適當なる指導によつて、音樂鑑賞上の必要なるべき知識を與へ、かつ寫眞圖解等を多く加へてその理解を助けた。
- 四、附録として音階練習、又はコール・ユー・ブングエンより拔萃した系統的な音程練習を加へて、學習上の便に備へた。

昭和十三年九月二十日

編纂者再識

改訂標準女子音楽教科書第四編

目次

御製あさみどり (編者謹作曲).....	卷頭
國華五章.....	卷頭
春 曉.....	1
野 薔 薇.....	6
[参考曲] 花 鳥.....	7
【参考】一 古典派時代の音楽.....	8
【参考】二 ロマン派時代の音楽.....	9
かゝやくさつき.....	10
青春の歌.....	14
山うぐひす.....	16
[鑑賞] ヴァイオリン協奏曲.....	20
[鑑賞] 歌の翼に.....	20
【参考】三 メンデルスゾーン.....	21
森のひばき.....	22
(小傳) バレレフスキイ.....	26
[鑑賞] ミヌエット.....	26
重嬰記號と重變記號.....	27
[鑑賞] カヴァティーナ.....	27
小琴のしらべ.....	28

【参考】四 シューベルト.....	30
-------------------	----

【参考】五 シューベルトの歌謠.....	31
----------------------	----

[鑑賞] 軍隊行進曲.....	32
-----------------	----

[鑑賞] 「未完成交響曲」より.....	32
----------------------	----

[鑑賞] 魔 王.....	32
---------------	----

[参考曲] 菩 提 樹.....	33
------------------	----

灯 影 (作曲者不詳).....	34
------------------	----

亡友を懐ふ.....	38
------------	----

欸乃の調.....	40
-----------	----

[鑑賞] 歌劇「蝶々夫人」よりの舟歌.....	44
-------------------------	----

(小傳) ブッチーニ.....	45
-----------------	----

[鑑賞] 歌劇「蝶々夫人」より「或る晴れた日に」.....	45
-------------------------------	----

昭和の日本.....	46
------------	----

我が太陽 (ナポリ民謡).....	50
-------------------	----

[鑑賞] セレナード.....	53
-----------------	----

[鑑賞] ナポリ民謡.....	53
-----------------	----

籬の白菊.....	54
-----------	----

そゞろあるき.....	56
-------------	----

樹 蔭.....	60
----------	----

旅の明暮.....	62
-----------	----

(小傳) ルービンシュタイン.....	65
---------------------	----

[鑑賞] 天 使.....	65
---------------	----

ふるさとの夢 .....66

- [鑑賞] 吾が母の教へ給ひし歌 .....70
- (小傳) ドヴォルシャック .....71
- [鑑賞] ユモレスク .....71
- [鑑賞] セレナーデ .....72
- [鑑賞] セレナーデ .....73
- [鑑賞] トステイのセレナーデ .....73

富嶽の頌 .....74

我等が精銳 .....78

- 和聲學の概要 .....83
- [一] 和音の意義 .....83
- [二] 和音の音程 .....83
- [三] 三和音 .....83
- [四] 長音階上の三和音 .....84
- [五] 短音階上の三和音 .....84
- [六] 四聲音部 .....84
- [七] 原位和音と轉回和音 .....85
- [八] 七の和音及びその他の和音 .....85
- [九] 和音の進行 .....86
- [一〇] 和音進行の練習 .....87
- 【附録】一 發聲・音階練習 .....88
- 【附録】二 音程練習 (コールユープンダン拔萃) .....89

春 曉

Vivace. (♩ = 112)

8va

カ ス ミ ニ ニ ホ  
か す み に に ほ

8va

フ ト ホ ヤ マ モ ト ノ ハ ナ ヨ リ シ ラ ム ア ケ  
ふ と ほ や ま も と の は な よ り し ら む あ け

ハ ナ ヨ リ ア ケ  
は な よ り あ け

ボノソラネグラヲイデテユクムラガラ  
 ぼのそらねぐらをいでてゆくむらから

スアレアレナキテミツヨツフタツ  
 すあれあれなきてみつよつふたつ

1. 獨唱に續く 2. 結部に續く

獨唱 I. 獨唱 II.  
 ミハテヌユメノユクヘヤイツラワカルルミネ

獨唱 III  
*più lento*  
 ノアノヨコグモカナクウグヒスノヤド

リヤイツコマダヨヲノロスアノタカムラカ

*a tempo*  
 タモトニカロクフクアサカゼ  
 カロクフクカゼ  
*a tempo*



ニ ホ ロ ト オ ツ ル ツ  
ニ ホ ロ ホ ロ ホ ロ ト オ ツ ル ツ

*8va*

ユ ヒ ラ リ チ ル サ ク ラ ア  
ユ ヒ ラ ヒ ラ ヒ ラ ト チ ル サ ク ラ ア

*8va*

CODA. (結部) *più lento*

おぼろよは あけにけり あは  
おぼろよは あけにけり あは

*più lento*

れ あ は れ  
れ あ は れ

*pp*

*8va.*

春 曉

中 村 秋 香

(合唱) 霞に匂ふ 遠山もとの  
花よりしらむ 曙の空  
暁を出でし 行くむら鴉  
あれ／＼啼きて 三つ四つ二つ

第一獨唱 見はてぬ夢の ゆくへやいづら  
第二獨唱 別る、峯の あ横雲か  
第三獨唱 啼くうぐひすの やどりやいづこ  
まだ夜を残す あのたかむらか  
吹く朝風に

(合唱) 袂にかろく 落つる露  
ほろ／＼／＼と 散る櫻 あ、  
ひら／＼／＼と 遠山もとの  
霞に匂ふ 曙の空  
花よりしらむ 行くむら鴉  
暁を出でし 三つ四つ二つ  
あれ／＼啼きて あはれ／＼

朧夜は明けにけり あはれ／＼

# 野 薔 薇

Lieblich. (愛らしく) (♩=69)

一. ヒ ト モ ト サ ー ケ ー ル ノ バ ラ ノ ハ ナ メ デ テ カ  
 二. つ く る の と も と こ ふ ひ と え だ ば ら は い  
 三. タ フ ル ヒ ト エ ー タ ノ ナ カ ノ バ ラ イ タ デ ニ

*pp*

ケ ヨ リ ヨ リ ソ フ ヲ ト メ ア カ ー ズ ナ ガ ム ル  
 ら へ ず と げ の み あ か し た め ら ふ を と め  
 ナ ゲ ク ナ ミ ダ ノ ヲ ト メ ユ フ ヤ ミ チ カ シ

*cresc.*

*rit.* **Tempo I.**  
 マ シ ロ ノ バ ー ラ ニ ホ ヘ ル バ ー ラ  
 ま じ ろ の ば ー ら ゆ か し の ば ー ら  
 マ シ ロ ノ バ ー ラ ア ハ レ ノ バ ー ラ

*pp rit.* **Tempo I.**

[参考曲]

# 花 鳥

(小學唱歌集)

♩=120.

一. ヤ マ キ ー ハ シ ラ ミ テ ス ズ メ ー ハ ナ キ ヌ  
 二. ふ み よ ー む ひ ま に は は な と ー り め で よ

ハ ヤ ト ク オ キ イ デ フ ミ ヨ ー メ ワ ガ コ フ ミ ヨ ー メ  
 と り な き は な さ き た の し む つ き ず た の し む

ワ ガ コ フ ミ ヨ ム ヒ ー マ ニ ハ ハ ナ ト リ メ ー デ ヨ  
 つ き ず あ め つ ち ひ ら け し は じ め も か ー く ぞ

<p>あはれの薔薇</p> <p>夕闇近し 眞白の薔薇</p> <p>傷手に 涙の少女</p> <p>手折る 一枝の薔薇</p> <p>ゆかしの薔薇</p>	<p>躑躅は 眞白の薔薇</p> <p>薔薇は 眞白の薔薇</p> <p>躑躅は 眞白の薔薇</p> <p>躑躅は 眞白の薔薇</p> <p>躑躅は 眞白の薔薇</p>	<p>二</p> <p>机の友と 乞ふ一枝</p> <p>句へる薔薇</p> <p>倦かず眺むる 眞白の薔薇</p> <p>愛で、かけより 寄り添ふ少女</p>	<p>一</p> <p>一本咲ける 野薔薇の花</p>
--	--	--	-----------------------------

野 薔 薇

藤 村 俊

【参考】一

古典派時代の音楽



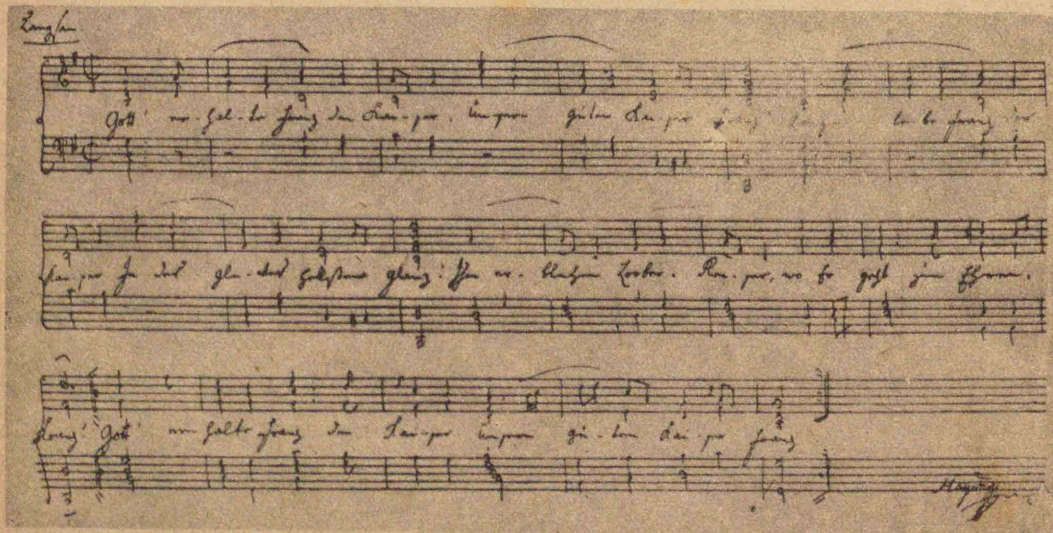
十六歳のベートーヴェンの横顔

バッハ(1685-1750), ヘンデル(1685-1759)は十七世紀の前半に於いて、当時の音楽界の動向を掌握し、所謂バッハヘンデル時代を現出して居たのであるが、十七世紀の後半はこれに代つて、ソナタ形式萬能の器楽時代であつた。この約半世紀の間の音楽を古典派時代といつてゐる。その代表的音楽家はハイドン(1732-1809), モーツァルト(1756-1791), ベー

トーヴェン(1770-1827)の三人で、世に彼等を古典派の三大家と稱してゐる。バッハヘンデル時代は、同時に二聲以上の旋律を取扱ふ複旋律音楽の大成時代で、カノン・フーガが諸種の形式に於いて行はれた。古典派時代の音楽はソナタ形式に見るやうに、単一の旋律がその音楽の構成を規定する、所謂単旋律音楽で、従つて此の時代になつて和聲學が異常の進歩を遂げ、且つ變奏曲等の方法も好んで行れるやうになつた。此の時代の代表的音楽は「交響曲」「ソナタ」「協奏曲」「ピアノ三重奏」「絃楽四重奏」等で、之等の模範的作品は多く此の時代に作られたのである。



十四歳の頃のモーツァルト



ハイドン自筆の舊オーストリア国歌原稿

【参考】二

ロマン派時代の音楽



十六歳のシューベルト

古典派時代について起つたのはロマン派時代である。これは十九世紀初頭の文藝運動の影響を受けたもので、ベートーヴェンが古典的大作を創作しつゝある間に於いて醸成されたものである。その先覚者としてシューベルト(1797-1828)と歌劇方面にウェーバー(1786-1826)の名が挙げられる。この運動は(1)形式美よりも詩的情緒を重んじた。(2)ソナタ、交響曲等の大曲を作らず、標題を與へた單一樂章の曲を作つた。(3)内的表現を助けるために旋律は勿論、和聲も一層複雑多岐となつた。(4)好んで民謡、俗樂を取扱ふ様になつた。

この流を繼いだ人々にメンデルスゾーン(1809-1847)・シューマン(1810-1856)・リスト(1811-1886)・ショパン(1810-1849)・ベルリオーズ(1803-1869)等があり、十九世紀はさながらロマン派音楽の全盛時代であつた。

此の時代の音楽で注意すべきは歌謡曲の進出であり、ワグナー(1813-1883)に到つてその極致を見るロマン派歌劇の勃興である。器楽曲に於いてもシューマン・ショパン・リスト等に見る如き絢爛たるピアノ曲及び交響詩曲とよばれるオーケストラ作品の誕生である。これにはリスト・ベルリオーズ等の大家がある。

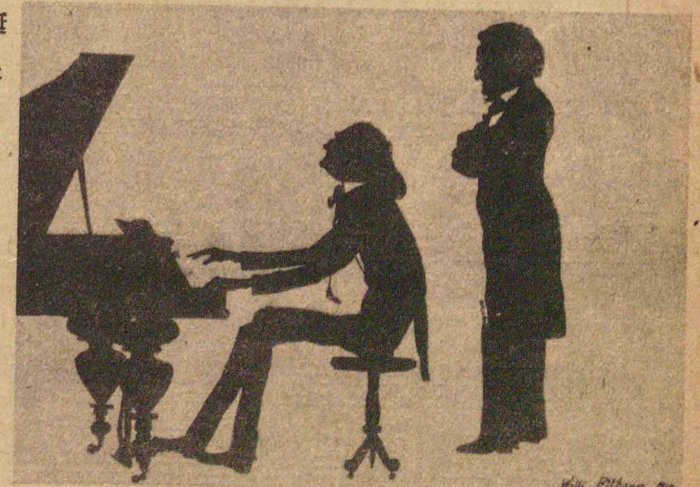
此の時代の音楽で注意すべきは歌謡曲の進出であり、ワグナー(1813-1883)に到つてその極致を見るロマン派歌劇の勃興である。器楽曲に於いてもシューマン・ショパン・リスト等に見る如き絢爛たるピアノ曲及び交響詩曲とよばれるオーケストラ作品の誕生である。これにはリスト・ベルリオーズ等の大家がある。



指揮するウェーバー



シューマンとクララ・シューマン



リストとワグナーの影繪像

かきやくさつき

Allegretto grazioso. (♩ = 100)

mp

一. カ ガ ヤ ク サ ツ キ ノ ノ ベ ニ イ デ テリ フー  
 三. ソ ヒ ユ ク を ガ ハ ノ ミ ツ ノ ヒ カ テリ フー

一. カ ガ ヤ ク サ ツ キ ノ ノ ベ ニ イ デ テリ フミ  
 三. ソ ヒ ユ ク を ガ ハ ノ ミ ツ ノ ヒ カ テリ フミ

一. カ ガ ヤ ク サ ツ キ ノ ノ ベ ニ イ デ テリ フミ  
 三. ソ ヒ ユ ク を ガ ハ ノ ミ ツ ノ ヒ カ テリ フミ

一. カ ガ ヤ ク サ ツ キ ノ ノ ベ ニ イ デ テリ フミ  
 三. ソ ヒ ユ ク を ガ ハ ノ ミ ツ ノ ヒ カ テリ フミ

Allegretto grazioso. (♩ = 100)

(pp) Staccato

p

ム ヤ ワ カ ク サ ノ カ ラ リ ユ カ シ ゲ コ ナ コ ベ ロ テ サ ツ  
 ヅ ク サ ネ ヒ ユ ク コ ボ ナ ノ カ シ ゲ コ ナ コ ベ ロ テ サ ツ

ム ヤ ワ カ ク サ ノ カ ラ リ ユ カ シ ゲ コ ナ コ ベ ロ テ サ ツ  
 ヅ ク サ ネ ヒ ユ ク コ ボ ナ ノ カ シ ゲ コ ナ コ ベ ロ テ サ ツ

ム ヤ ワ カ ク サ ノ カ ラ リ ユ カ シ ゲ コ ナ コ ベ ロ テ サ ツ  
 ヅ ク サ ネ ヒ ユ ク コ ボ ナ ノ カ シ ゲ コ ナ コ ベ ロ テ サ ツ

ム ヤ ワ カ ク サ ノ カ ラ リ ユ カ シ ゲ コ ナ コ ベ ロ テ サ ツ  
 ヅ ク サ ネ ヒ ユ ク コ ボ ナ ノ カ シ ゲ コ ナ コ ベ ロ テ サ ツ

rit. mp a tempo

リ テ オ ノ ツ カ ラ ウ タ ゴ エ キ ソ フ ト  
 キ の ひ を あ び て か が や く け ふ ぞ た

rit. mp a tempo

リ テ オ ノ ツ カ ラ ウ タ ゴ エ キ ソ フ ト  
 キ の ひ を あ び て か が や く け ふ ぞ た

rit. mp a tempo

リ テ オ ノ ツ カ ラ ウ タ ゴ エ キ ソ フ ト  
 キ の ひ を あ び て か が や く け ふ ぞ た

rit. mp a tempo

リ テ オ ノ ツ カ ラ ウ タ ゴ エ キ ソ フ ト  
 キ の ひ を あ び て か が や く け ふ ぞ た

rit. p a tempo

p. 1. to Solo 2. Fine Solo mf

モ の ド シ チ キ ニ あ

p. 1. to Solo 2. Fine (Staccato) ラ

p. 1. to Solo 2. Fine (Staccato) ラ

p. 1. to Solo 2. Fine (Staccato) ラ

p. 1. to Solo 2. Fine (Staccato) ラ

Fine p Staccato

をばわかばのいろははえてもーりにはや  
 ラー ラー ラー ラー ラー

ラー ラー ラー ラー ラー

ラー ラー ラー ラー ラー

ラー ラー ラー ラー ラー

しーにとりもろたふそらはうすみどりき  
 ラー ラー ラー ラー ラー

ラー ラー ラー ラー ラー

ラー ラー ラー ラー ラー

ラー ラー ラー ラー ラー

はーすみてわーかーきこころぞときめく  
 ラー ラー ラー ラー ラー

ラー ラー ラー ラー ラー

ラー ラー ラー ラー ラー

ラー ラー ラー ラー ラー

かゝやくさつき  
 桑田つねし

一 かゝやく五月の野邊にいで、  
 ふむや若草のかをりゆかし  
 心躍りておのづから  
 歌聲きそふ友どち

二 青葉若葉の色は映えて  
 森に林に鳥もうたふ  
 空はうすみどり 氣は澄みて  
 若き心ぞときめく

三 添ひ行く小川の水の光  
 水草ぬひゆく 小鮒のかげ  
 なべて五月の陽を浴びて  
 輝く今日ぞ 樂しき

# 青春の歌

Andante con moto. (♩ = 92)

一. タ タヘヨワガセイ シュン - ホ コレヨワガセイ  
 二. た たへよわがせい しゅん - ほ これよわがせい  
 三. タ タヘヨワガセイ シュン - ホ コレヨワガセイ

シュン - ヤ マヲノボル コノ アシヲミヨ ミ  
 しゅん - きば うはをどる この むねをみよ ふ  
 シュン - コ ノアカキチ コノ ヲドルニク フン

ツ オヨグコノウデヲ ミーヨケン カウ タダゴ ジャクノ  
 のうのごわれにか ひ なーし せい うん ただえきかに  
 レイタダススムユク テーニ セイ コウ タダカガヤキ

1. 2.  
 ミ ニ アリ  
 た だ よ ふ

1. 2.  
 pp

3.  
 テ マ テ リ

3.

青春の歌  
 水田詩仙

一 たへよ わが青春  
 誇れよ わが青春  
 山を登る此の脚を見よ  
 水泳ぐ此の腕を見よ  
 健康たゞ五尺の身にあり

二 たへよ わが青春  
 誇れよ わが青春  
 希望は躍る此の胸を見よ  
 不能の語われに甲斐なし  
 青雲たゞ腋下にたゞよふ

三 たへよ わが青春  
 誇れよ わが青春  
 此の赤き血此の躍る肉  
 奮勵たゞ進む行手に  
 成功たゞ輝きて待てり

山うぐひす

Andante. (♩ = 96)

やま びこ ねむれる み やまのおく に  
 やま びこ ねむれる み やまのおく に

Andante. (♩ = 96)

cresc. *f* *p*  
 こゑもかそけ - く うぐひす - なく かそ -  
 こゑもかそけ - く うぐひす - なく うぐひす -

cresc. *f* *p*

けく やま びこ ねむれる  
 なく やま びこ ねむれる み やまのお  
 やま びこ ねむれる み やまのお

cresc. *f*  
 こゑもかそけ - く - うぐひす - なく  
 く に こゑもかそけ - く - うぐひす - なく  
 く に こゑもかそけ - く うぐひす - なく

cresc. *f* *p*

cresc. *f*

*pp*  
 やま び こ ねむれる み  
*pp*  
 ぐ ひす—なく やま び こ ねむれる み  
*p* *pp*  
 なき—なく やま び こ ねむれる み

*cresc.* *p*  
 やまのおくに こゑも かそけ—く う  
*cresc.* *p*  
 やまのおくに こゑも かそけ—く う  
*cresc.* *p*  
 やまのおくに こゑも かそけ—く う

*cresc.* *f*  
 ぐ ひす—なく う ぐ ひす—なく う ぐ ひす—なく  
*cresc.* *f*  
 ぐ ひす—なく う ぐ ひすなく う ぐ ひす—なく  
*cresc.* *f* *p*  
 ぐ ひす—なく う ぐ ひすなく う ぐ ひすなく う

*p*  
 かそ—けく — — —かそけく  
*p* *pp* *p*  
 かそけく ほけきよ けきよ かそけく  
*pp* *p*  
 ぐ ひす—なく ほけきよ けきよ かそけく



[鑑賞]

(第一樂章) ヴァイオリン協奏曲  
Allegro molto appassionato



Andante. (第二樂章)



[鑑賞]

Andante tranquillo. 歌の翼に



かそけく	ほけきよ けきよ	鶯啼く	聲もかそけく	深山の奥に	やまびこ 眠れる	山うぐひす
					水田詩仙	

【参考】三

メンデルスゾーン

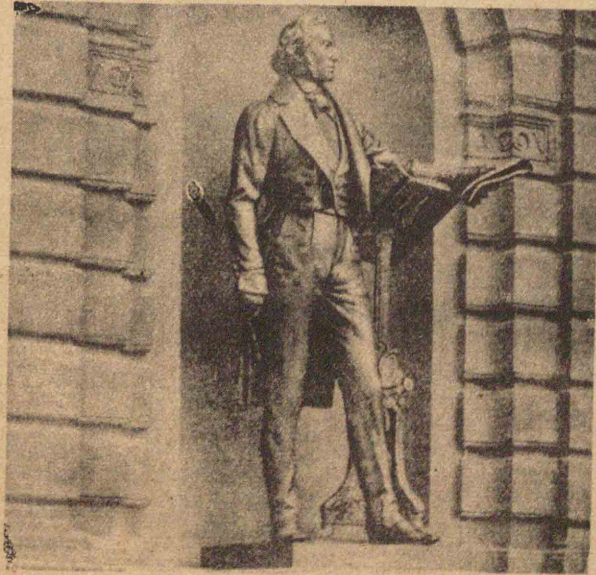


メンデルスゾーン (Felix Mendelssohn-Bartholdy, 1809-1847) オーストリアにモーツァルト姉弟が現はれたに對し、約五十年を経てドイツ・ハンブルクにも天才姉弟が現はれて世人に驅はれた。弟をフェリックスといひ姉をファンニイと稱んだ。フェリックスは九歳にして既に演奏家として名をなし、十五歳にして歌劇四曲を作つたといふ。姉も常に之に伍してピアノの外作曲等にも勵んだ。此の姉弟は祖父に偉大なる哲學者としてのモーゼスを持ち、父に銀行家として有名なアブラハムを持つたので、その教養、生活の點に於いて他の多くの音樂家の不遇なりし過去とは同日の比でな

かつたのである。それ故彼の作品も亦、優艶鮮美、たゞ美しいといふに止り、人生の暗黒なる半面には及ばなかつた。それが彼の長所であり、且短所である。然しながら三十八年の短日月の間に多くの合奏音樂の外、「パウロ」「エリヤ」の二大聖劇、美しき多數のピアノ曲、中にも無言歌と稱するピアノの曲風の創始、その他歌謡曲の數々が遺されてゐる。ヴァイオリン協奏曲も不朽の名作としてよく演奏されてゐる。



メンデルスゾーンの姉  
ファンニイのスケッチ畫像



デュッセルドルフのメンデルスゾーンの記念像



臨終の床のメンデルスゾーン

森のひいき

Allegro. (♩ = 63)

Musical notation for the first system, including vocal lines and piano accompaniment.

Allegro. (♩ = 63)

Musical notation for the second system, including piano accompaniment with dynamics *mf* and *rit.*

Quasi andante. (♩ = 96)

Musical notation for the third system, including vocal lines with lyrics: 一. モリニヒビクツノブエト, 二. もりにひびくつのぶえと.

Quasi andante. (♩ = 96)

Musical notation for the fourth system, including piano accompaniment with dynamics *p*.

Musical notation for the fifth system, including vocal lines with lyrics: ホほくちかかく, ホほくちかかく.

Musical notation for the sixth system, including piano accompaniment with dynamics *p* and *rit.*

Allegro vivace. (♩ = 69)

Musical notation for the first system on page 23, including vocal lines with lyrics: イザヤエケトサツヲハイサミ, イザヤエケふもたたかひをへぬ.

Allegro vivace. (♩ = 69)

Musical notation for the second system on page 23, including piano accompaniment with dynamics *f*.

Musical notation for the third system on page 23, including vocal lines with lyrics: タノシウータゴエミヨミ, たのしうーたごゑみよみ.

Musical notation for the fourth system on page 23, including piano accompaniment with dynamics *p* and *f*.

Musical notation for the fifth system on page 23, including vocal lines with lyrics: ヨーモリニミツルワカウドノチハイ, ヨーよもにあーがるえものはやまとゆ.

Musical notation for the sixth system on page 23, including piano accompaniment with dynamics *cresc.*, *p*, *rit.*, and *a tempo*.

*cresc.*

マゾターギリ - マユネハアガ - リニクハロード  
 ふひに - はえ - さつをのうた - はそらにとよ

*cresc.*

マゾターギリ - マユネハアガ - リニクハロード  
 ふひに - はえ - さつをのうた - はそらにとよ

*sf* *p*

*giocoso*

ララララララララララ

*giocoso*

ララララララララララ

*mf* *f*

*p*

ラ - ララ ラ - ララララララララララ *D.C.*

*p* *mf* *f* *p*

ララララララララララララララララララ *D.C.*

*p* *mf* *f* *p*

ララララララララララララララララララ *D.C.*

2.

ラ

2.

ラ

*dim.*

森のひびき

水田詩仙

一 森にひびく角笛つのだえ  
 遠く近く  
 「いざや 行け」と 獵夫さつをは勇み  
 たのし歌聲(たのし歌聲)  
 見よ 見よ 森に充つる  
 若人の血は 今ぞ滾り  
 眉根は上り 肉は躍る  
 ラララ、、、、、

二 森にひびく角笛  
 遠く近く  
 いざや 今日も 戦ひ終へぬ  
 たのし歌聲(たのし歌聲)  
 見よ 見よ 四方にあがる  
 獲物は山と 夕陽に映え  
 獵夫の歌は 空にとよむ  
 ラララ、、、、、



パデレフスキイ (Ignaz Jan Paderewski, 1860 - 現存), 氏は現代の有する最も偉大なピアノ演奏家である。更に彼の名を史上に不朽ならしめたものは、歐洲大戦亂の後に獨立を宣したポーランド共和國の第一次の大統領として、又は首相として押され衆望を集め、ヴェルサイユ會議に臨んだ事などである。氏は十二歳ワルソー音楽學校に入學してピアノ及作曲を學び、此所で雄飛の基礎を作つたのである。

後母校の教師となり、歐洲を遍歴してその名を一世に馳せた。戦亂勃發當時アメリカに居た氏は故國の急を知り遠かに歸國した。之に對して國家は最高の敬意を表して氏を迎へ、氏の經綸に俟つ事が多かつた。

作品には數多の輝かしいピアノ作曲の他、歌劇の數篇が數へられる。1926年10月オックスフォード大學より音楽博士の名譽ある學位を贈られた。

[鑑賞]

ミヌエット

Allegretto.

3.

### 重嬰記號と重變記號

嬰記號によつて半音上げられた音を更に半音上げる時には重嬰記號(×)を用ひ、變記號で半音下げられた音を更に半音下げる時には重變記號(bb)を用ふ。

そして半音だけ本に歸す時にはそれぞれ(♯), (♭)を用ひ全然本位音にかへす時には(♮)を用ふ。

例へば(a)の旋律をホ長調に移調する時には(b)の如く記譜しなければならない。

又(c)の旋律を變イ長調に移調する時は(d)の如くなる。

[鑑賞]

カヴァティーナ

Larghetto quasi Andantino.

4.

### 小琴のしらべ

Moderato. (♩ = 66)

一. フ ゴ ト  
二. を ご と

の シ ラ ベ キ ョー ラ ニ タ ソ ガ  
の し ら べ きーくーと き こ の よ

レ ノ マ ド ニーイール ヒ ゴ ト  
の う さ も わーすーれ こ こ ろ

ニ カ ナ ツル ハー ソ モ タ ガ ヤ ノ アー  
は ゆ た に ひ ろー ら か あ こ が れ のー

*pp*  
*cresc.*

テ ビ ト ノ ス サ ビ ノ シ ラ ベ カ  
く に ベー に お も ひ は ー かけー ゆ く

*p*  
*fp*

### 小琴のしらべ

水田詩仙

一 小琴の調 きよらに  
黄昏の窓に入る  
日ごとに かなづるはそも  
誰が家の あて人の  
すさびの しらべか

二 小琴の調 聞くとき  
此の世の憂さも忘れ  
心はゆたに ひろらか  
憧れの國邊に  
おもひは 駈けゆく

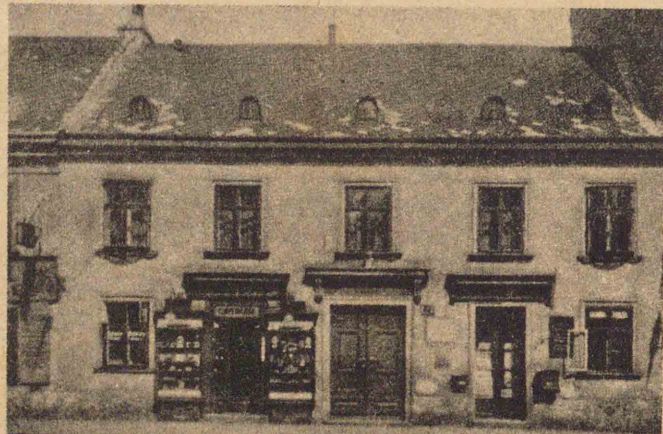
【参考】四

シューベルト

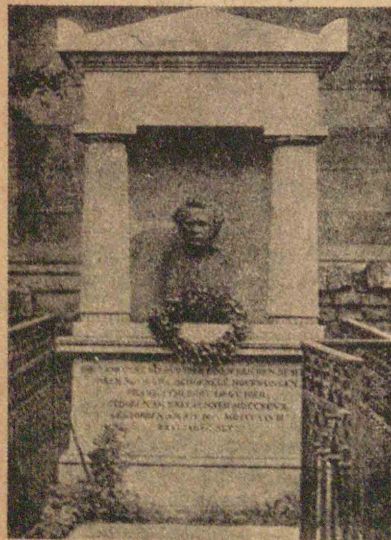


シューベルト (Franz Schubert, 1797—1828) はウィーンの郊外リヒテンタールの小學校教師の子として生れ、父及び兄からヴァイオリンやピアノを學んだ。後當時の好樂兒童の憧れの的であつた、宮廷寺院附豫備校のコンヴィクトに入學を許され、彼の音樂生活は楽しく進められていつた。併し貧困なる彼の生活は、時には作曲すべき五線紙さへ不自由を感じることもあつたが、友人等の助力によつてその天分を十分に發揮することが出来た。十六歳の時父の學校に教授の助手をなし、傍ら作曲生活ははじめられた。十八歳にして既に「魔王」を含む百三十餘曲の歌謡と、六つの歌劇が作られ、三十一歳をもつて短命を終るまで實に約六百の歌謡を残した。

シューベルトはハイドン、モーツァルトによつて築かれ、ベートーヴェンに至つて大成した古典派音樂の牙城を敢然と破つて、ロマン派音樂の礎石を投じ、音樂史上重要な役割を演じた。彼の交響曲「未完成」はベートーヴェンの「第五」と並び稱せられるものであり、その他有名なるピアノ曲、宗教樂曲、室内樂曲等を遺した。



リヒテンタールのシューベルトの生家



シューベルトの墓標



シューベルト自筆原稿「音樂に寄す」(小琴のしらべ)の一部

【参考】五

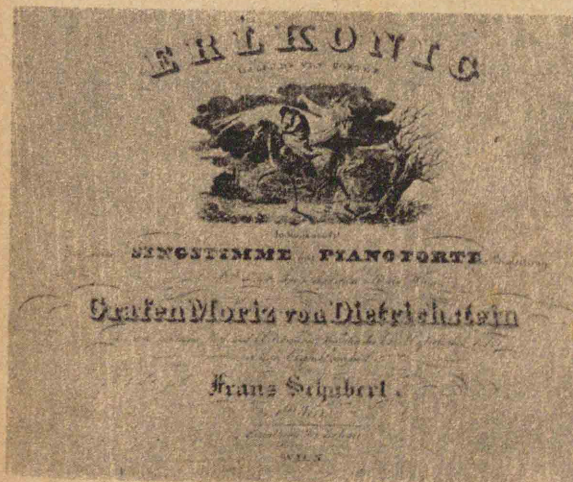
シューベルトの歌謡

歌謡曲(リート)はシューベルトによつて、始めて藝術的に高い地位を與へられ、演奏會の曲目として鑑賞される様になつた。之はロマン派的詩文藝の勃興とその運動を俱にしたものであるが、此の運動はシューベルトによつて歌謡曲の作曲に移された。それ故シューベルトを「歌謡曲の父」と稱んでゐる。

彼は十七歳(1814年)にして「紡車によるグレートヘン」、翌年「魔王」「野薔薇」等の傑作を發表したが、中でもミュラーの詩集に作曲した「美しき水車屋の娘」(1828年)、同じく同人の詩集に作曲した「冬の旅」(1827年)、及び最終となつた曲集ハイネ等の詩に作曲した「白鳥の歌」(1828年)の三大曲集がある。

シューベルトの歌謡の特色は(1)旋律の流麗であつたこと、(2)伴奏は有意的に處理せられ、(3)和聲の豊麗轉調の自由等は以前の歌曲に見られないところであつた。これはシューマン、ブラームスに傳へられ、歌謡曲といふ美しい音樂の花となつて、世の好樂家に捧げられて來たのである。

今シューベルトの歌謡曲中前述のもの他に著名なものをあげて見れば、「牧人の嘆き」(1814)、「少女の嘆き」(1816)、「さすらひ人」(1816)、「死と少女」(1817)、「汝は安息なり」(1823)、「アヴェ・マリア」(1825)、「聴け聴け雲雀」(1826)、「菩提樹」(1827)、「郵便車」(1827)、「海邊にて」(1828)、「セレナーデ」(1828)等がある。



「魔王」の扉表紙



上は「美しき水車屋の娘」を生んだウィーンの水車小屋、下はその歌集の扉表紙

[鑑賞] 軍隊行進曲

Allegro vivace.

5.

中略

Trio.

後略

[鑑賞] 「未完成交響曲」より

Allegro moderato.

6.

後略

[鑑賞] 魔王 (Erlkönig)

Schnell. (♩ = 152)

7.

後略

[参考曲]

菩提樹

Moderato. (♩ = 60)

一カドベニタカクタテルボタイジュワ  
二いくとせたびにまなぶわーがみい  
三ミドリノカゲニイマスイーオヤネ

カレントキノチカヒオーモフノ  
つかあひみんかどのほだいじゆゆ  
モトニアソブワカキイーモトヨオ

ゾミハタサーテナレガカゲニカヘラジト  
めにそよぐーはなれがさえだこかげにい  
モヒハメグールチサトノヲチココカゲニア

ミキニエリシソノーヒエリシソノーヒ  
こへとわれをまねーくわれをまねーく  
ヒアフソノヒマタルルソノヒマタルル

# 灯 影

作曲者不詳  
編者編曲

Larghetto. (♩ = 50)

mf

Solo. mp

ものかげやみをそへて

mp

humming

mp

p

mf

ふくかぜもせはしく - をかべのま

mf

mp

しろきやに - こよひもひはとも

Chorus. mf

る - そがふたつのほかげぞ

Chorus. mf

そがふたつのほかげぞ -

mf

mp

- よごとしのふははの - われ

mp

- よごとしのふははのははのわれ

mp



を まも る や さ し の ー ー ひ と み の ま た た ー

を まも る や さ し の ー ー ひ と み の ま た た ー

は る か な る 故 郷 の

は る か な る ふ る さ

*mp* humming

*mp*

*p*

と の ー ー は は よ ま さ き く ま せ

灯 影

水田詩仙

ものかげやみをそへて  
吹く風もせはしく  
丘邊の眞白き家  
今宵も灯はともる  
そが二つの灯影ぞ  
夜毎しのぶ母の  
われを護るやさしの  
ひとみのまたゝき  
はるかなる故郷の  
母よまさきくませ

# 亡友を懐ふ

Andante con espressione. (♩ = 69)

一. ウマシヨルヲ ナキアカスムシハナノカヲリフ  
 二. あをきつきに あやおるもりべしるがねとほくな

キクルカゼ イヅレフルキスガターナラヌア  
 がるるか は いづれむかしあそびしところあ

アハレサレドワガトモハモコゾノアキノツ  
 あはれされどそのともはもこぞのあきのゆ

ユトカヘラズ ト モーニウタヒ  
 めとかへらズ つ きのおもに

アケニク レニムツビ アヒーシワ  
 うか べ るはそもながかーげな

ガトモヨ イマハイヅ コニマスワガトモ  
 つかしき かはせにきくはとものそのこゑ

## 二

## 一

亡友を懐ふ 桑田つねし

一 美し夜を 鳴きあかす蟲  
 花の薫 吹きくる風  
 いづれ舊きすがたならぬ  
 あゝあはれ されどわが友はも  
 去年の秋の露とかへらず  
 共に歌ひ 明暮に  
 陸びあひし わが友よ  
 今はいづこに在ます わが友

二 蒼き月に 綾織る森邊  
 白銀遠く 流るゝ川  
 いづれむかし 遊びしところ  
 あゝあはれ されどその友はも  
 去年の秋の夢とかへらず  
 月の面に 浮べるは  
 そも汝が影 懐かしき  
 川瀬に聞くは 友のその聲

歎 乃 の 調

Moderato. (♩ = 56)

う ら し ま や - ま に い り の こ り - を

う ら し ま や - ま に い り の こ り -

な み さ へ ね - む れ る

Moderato. (♩ = 56)

よ - る の う み - ろ の お と か - そ け き を お ね の か

よ - る の う み - ろ の お と か - そ け き を お ね の か

い ざ よ ひ づ - き も か た お き て -

い ざ よ ひ づ - き も か た お き て -

い ざ よ ひ づ - き も か た お き て -

い ざ よ ひ づ - き も か た お き て -

も - ぞ な み と ま - が ふ う る は し - か み の

も - ぞ な み と ま - が ふ う る は し - か み の

も - ぞ な み と ま - が ふ う る は し - か み の

も - ぞ な み と ま - が ふ う る は し - か み の

の へ の ま つ - か ず も し る く - か さ な る く

の へ の ま つ - か ず も し る く - か さ な る く

ま つ - か ず も し - る く

ま つ - か ず も し - る く

も - な み と ま が ふ な - が め

も - な み と ま が ふ な - が め

も - ぞ な み と ま - が ふ う る は し - か み の

も - ぞ な み と ま - が ふ う る は し - か み の

も - ぞ な み と ま - が ふ う る は し - か み の

も - ぞ な み と ま - が ふ う る は し - か み の

た -- く み あ . た へ に も  
 た -- く み あ . た へ に も

*p* *pp*

しーらぶる ふーなび と の -- う た ご ゑ な-みまに  
 しーらぶる ふーなび と の -- う た ご ゑ な-みまに

*pp*

た-だよ へ ば あ、 ゆめにそよ  
 た-だよ へ ば ゆめにそよ ぐ --

*p* *cresc.* *sf* *p* *cresc.*

ぐ -- さざな-み も -- あ は -- せ さら  
 さざなみ -- も しーら-べ あ -- は -- せ

*f* *dim.* *pp*

さら -- さら さら さら -- さら -- さら --  
 さら さら さら さら -- さ --

*ppp* *ppp* *pppdim.*

さら -- さら -- さ -- ら --  
 ら さ -- ら さら さ -- ら --

*ppp*

[鑑賞]  
歌劇「蝶々夫人」中の舟歌

Moderatamente mosso.

8. *p*  
(humming)

*mf* *ritenuto*

*rall.* *rit.* *a tempo*

*rall.* *molto* *pp*

歌聲波間に漂へば  
あゝ夢にそよぐ  
小波も調あはせ

神のたくみ あゝ  
妙にも しらぶる舟人の

うるはし ながめ  
(かさなる雲ぞ)

尾の上の松 数もしるく  
かさなる雲 波とまがふ

十六夜月も傾ぶきて  
浦島山に入りのこり

波さへ眠れる夜の海  
櫓の音かそけき小舟のかげ

歎乃の調 桑田つねし

さらさら  
さらさら  
さらさら  
さらさら  
さらさら

プッチーニ (Giacomo Puccini, 1858 - 1924) 数多の作曲家の内、我が日本文化に特に関係のあるものはプッチーニであらう。彼の作曲になる歌劇「蝶々夫人」こそは、日本の國の存在をも知らなかつた世界の人々に、強く種々の印象を與へ親しむ可き日本を世界に紹介した記憶すべき作品である。



彼は此の曲中に日本の古來のメロディ二三を巧みに織込んでゐる。彼の歌劇には此の外「トスカ」、「ホヘミヤの人達」等の有名なものがある。彼はイタリーのルッカに生れた。數代前にもジャコモと言ふ勝れた宗教音楽家が出、その後一世紀半許り沈黙を續けたが、然し地方的には相當な音楽の家であつた。此の家に歌劇大家プッチーニの出た事は偶然でない。彼はミラノの音楽學校在學中既に「交響狂想曲」等を發表して名聲を博した。

[鑑賞]  
或る晴れた日に

Andante molto calma. ♩ = 42. 歌劇「蝶々夫人」より

9. *poco rall.*

*Un poco mosso* *ritenuto*

*Un poco mosso* *con passione ritenuto*

*dolcemente* *rall.* 後略

# 昭和の日本

Andante. (♩ = 108)

Musical notation for the first system on page 46, including vocal line and piano accompaniment.

Andante. (♩ = 108)

Musical notation for the second system on page 46, including piano accompaniment.

一カ ミヨナ-ガーラ-ノミヅ ホタル-  
二に しにひ-が-し-にひのみは-たか

Musical notation for the third system on page 46, including vocal line and piano accompaniment.

一カ ミヨナ-ガーラ-ノミヅ ホタル-  
二に しにひ-が-し-にひのみは-たか

Musical notation for the fourth system on page 46, including piano accompaniment.

ルニ ヤマノサ-チメデ タク ウミノサチ ミテリ  
ざ-す みふねい-た-ら-ぬ うなばらも な-し

Musical notation for the fifth system on page 46, including vocal line and piano accompaniment.

ルニ ヤマノサ-チメデ タク ウミノサチ ミテリ  
ざ-す みふねい-た-ら-ぬ うなばらも な-し

Musical notation for the sixth system on page 46, including piano accompaniment.

Musical notation for the first system on page 47, including vocal line and piano accompaniment.

ア ア ワガウマ-シ クニ ミメグミ ア マネク ア ア ワガ-オホ-  
み い つのひ-かり -は とつづくにぐに-のうへにもし-

ミメグミ ア マネク  
とつづくにぐに-の

Musical notation for the second system on page 47, including piano accompaniment.

*p e dolce*

Musical notation for the third system on page 47, including vocal line and piano accompaniment.

ヤ-ミ アサヒトカガヤキ タミクサ アヨクサカエ  
る-くかがやきまされる いまこそせうわのみよ

アサヒトカガヤキ  
かがやきまされる

Musical notation for the fourth system on page 47, including piano accompaniment.

*dolce*

Musical notation for the fifth system on page 47, including vocal line and piano accompaniment.

ア フギテ カミトタタフル アナタフト  
うちとに にかえはゆる あなたのし

カミトタタフル  
さかえはゆる

Musical notation for the sixth system on page 47, including piano accompaniment.

*Poco allegretto animato.* *rit.*

ア ナ カ シ コ ツトメ ヨ ハラカラ コノク ニ コノキ  
 あ な を を し つとめ よ はらから このく に このき

*Poco allegretto animato.*

ア ナ カ シ コ ツトメ ヨ ハラカラ コノク ニ  
 あ な を を し つとめ よ はらから このく に

*a tempo*

ミ タヘニ モ アヤナ ス フミニ ヨロヅノタ ワザニ  
 み たへに も あやな す ふみに よろづのた わざに

ララララララ ララララララ ラララフミニ ヨロヅノタ ワザニ  
 ララララララ ララララララ ラララふみに よろづのた わざに

*Da tempo*

ク ガニ ウ ミチニ ハ ゲミ ツトメー ヨ  
 く がに う みち に は げみ つとめー よ

ク ガニ ウ ミチニ ハ ゲミ ツトメー ヨ  
 く がに う みち に は げみ つとめー よ

*Adagio.* *dal Segno.*

ワ ガ ハ ラ カ ラ  
 わ が は ら か ら

*dal Segno.*

ワ ガ ハ ラ カ ラ  
 わ が は ら か ら

*Adagio.* *dal Segno.*

昭和の日本 水田詩仙

一 神代ながらの 瑞穂垂る、國  
 山の幸めでたく 海の幸みてり  
 あ、我がうまし國 み恵あまねく  
 あ、我がおほ君 朝日と輝き  
 民草青く榮え 仰ぎて神と稱ふ  
 あなたふと あなかしこ  
 「折返」つとめよ はらから

二 西に東に 日の御旗かざす  
 御船到らぬ 海原もなし  
 御稜威の光は 外つ國々の  
 上にも著く 輝きまされる  
 今こそ昭和の御代 内外に榮えはゆる  
 あなたのし あな雄々し

此の國 此の君  
 妙にも あやなす  
 文に萬の特技に 陸に海路に  
 勵み努めよ 我が同胞

# 我が太陽

ナポリ民謡

Andante. (♩ = 69)

mf

*p*

一. ウルハシノ  
二. あかあかと

ヒノカガヤキ — アラシサリテ — ナゴムソラニ  
ひはかたぶき — なみのかなた — こがねそめて

*cresc.*

一. サシノボル アサヒノカゲ — カガヤ  
二. よのとばり せまりくれば — しばし

*cresc.*

*mf*

キニツルヒ カリ—ヨ — ウレヒ—ナキ  
やすらふわ が ひ—よ — あいにみつる

*mf*

一. オモワノ — ホホエミゾ — ノゾミ  
二. おもわの — ほほえみぞ — すくひ

ニ — モユ — ルスガタカ  
の — かみ — のちからか

1. *mp*

一. ワガヒノ — カガヤキ —

1. *p*



	二		一	
救護の神の靈能か	愛に満つる面輪の微笑ぞ	安息らふ我が太陽よ	帳迫り來れば	波の彼方黄金染めて
我が太陽ぞあ		我が太陽の耀き	希望に燃ゆる姿か	希望に燃ゆる姿か
			憂なき面輪の微笑ぞ	耀きに充つる光よ
			さし昇る朝日の影	嵐さりて和む空に
			麗はしの陽光の耀き	我が太陽

水田詩仙

[鑑賞] セレナード

Allegretto moderato.

[鑑賞] ナポリ民謡

Allegretto moderato.

# 籬の白菊

Andantino. (♩ = 69)

mp

mp mp mp

一. シラツ ユシゲキ マガキ --ノ--ホトリ スガ  
二. まはぎ のかげに むしの --ね--ほそく つき

mp p mp

p string.

レ シチグサ ミーダールルナ カニ クシク モキヨ  
な きよはの に--は--ものな かに ほしと もまが

cresc. dim. pp string.

rit. >> mf a tempo

ク ニホフ シラギク タ カ--キ ソ  
ふ ましろ のこぎく き よ--き そ

rit. mf a tempo

cresc.

ノ カーラーリ ユカ シキ スガ --タ  
の か--を--り めで たき すか --た

cresc.

f dim.

ヤ ア ハレ--ソ ノ シラ ギク  
ヤ あ はれ--そ の しら ぎく

f dim.

## 籬の白菊

藤村俊

一  
白露しげき 籬のほとり  
すがれし千草 亂るゝ中に  
奇しくも潔く 匂ふ白菊

高きそのかをり  
ゆかしき姿や  
あはれ その白菊

二  
眞萩の蔭に 蟲の音細く  
月なき夜半の 庭面の  
星ともまがふ 眞白の小菊

清きそのかをり  
めでたき姿や  
あはれ その白菊

そらあるき

Allegro brillante. (♩ = 104)

Introduction for piano, marked *f*. The music is in 2/4 time and features a rhythmic pattern of eighth and sixteenth notes.

Vocal melody with lyrics. The music is marked *mp*.  
 一. ココロモツブトモドチツレテ  
 二. すゝめのみづはひかりてこはる

Piano accompaniment for the first vocal line, marked *mp*. It consists of a steady eighth-note accompaniment.

Vocal melody with lyrics. The music is marked *mf*.  
 ユクムラノホソミチオノツカラナルウタノコエアシナ  
 びはかせさへなぎぬかろくうかぶはちぎれぐもおちば

Piano accompaniment for the second vocal line, marked *mf*. It continues the eighth-note accompaniment.

Vocal melody with lyrics. The music is marked *mp*.  
 ミニシラカサヒテキヨクナガルルヲガハノキシ  
 ふみたどるほそみちすがるるくさにまじりてひと

Piano accompaniment for the third vocal line, marked *mp*. It continues the eighth-note accompaniment.

Vocal melody with lyrics. The music is marked *mf*.  
 へニホフツボスミレトモドモニツミテカザースヲ  
 りさくののしらぎくともどもにをりてかざーすと

Piano accompaniment for the fourth vocal line, marked *mf*. It continues the eighth-note accompaniment.

Vocal melody with lyrics. The music is marked *mp* and includes the instruction "solo or I".  
 メノムネノアタリニツヨグハハルノカゼヨ一ヲトメ  
 めのむねのあたりにさやぐはあきのかぜよ一をとめ

Piano accompaniment for the fifth vocal line, marked *mp*. It concludes the piece with a final chord.



# 樹 蔭

Moderato. (♩ = 60)

*mp*

一 コ ヨ ヤ ト モ ヨ コ カ ゲ ニ シ バ ー シ ヲ  
 二 こ よ や と も よ こ か げ に し ば ー し を

*mp* *poco ritard.*

イ コ ー ハ ン フ ミ ニ ウ ミ シ コ コ ー ロ ヲ  
 あ そ ー ば ン わ ざ に な え し か ら ー だ を

*a tempo* *p*

ナ グ ー サ メ ン コ ヨ ヤ ト モ ヨ  
 い こ ー は せ ン こ よ や と も よ

*ritard.*

コ カ ゲ ニ シ バ ー シ ヲ カ タ ー ラ ン  
 こ か げ に し ば ー し を う た ー は ン

*a tempo* *poco rit.* *a tempo*

ウ レ シ タ ノ シ フ ル キ ヒ ノ オ モ ー ヒ デ ヲ  
 た の し う れ し わ か き ひ の よ き ー う た を

*p*

シ ゲ レ ル ア フ チ ノ ワ カ バ ハ ア ー ヲ ア ラ シ ニ  
 ほ つ え の は か げ に す だ く は な ー つ ぜ み の う

サ ー ザ メ キ テ ハ ツ ナ ツ ノ ヒ ヲ カ ヘ シ シ  
 た ー の し ら べ こ ゑ き そ ふ ふ た つ み つ す

*rall.* *a tempo*

タ ク サ ノ カ ヲ リ ヨ シ ヤ コ ヨ ヤ ト モ ヨ  
 ず か ぜ も ひ ひ き よ し や こ よ や と も よ

*ritard.*

コ カ ゲ ニ ワ レ ー ラ モ カ タ ー ラ ン  
 こ か げ に わ れ ー ら も う た ー は ン

*a tempo cresc.* *poco ritard.*

ウ レ シ タ ノ シ フ ル キ ヒ ノ オ モ ー ヒ デ ヲ ー  
 た の し う れ し わ か き ひ の よ き ー う た を ー

二

一

## 樹 蔭

水 田 詩 仙

來よや友よ 樹蔭に しばしを憩はん  
 文に倦みし 心を 慰めん  
 來よや友よ 樹蔭に しばしを語らん  
 うれしたのし 故き日の 追憶を  
 繁れる櫻の若葉は 青嵐にさゝめきて  
 初夏の陽を 反し 下草の香佳しや  
 來よや友よ 樹蔭に 我等も語らん  
 うれしたのし 故き日の 追憶を  
 來よや友よ 樹蔭に しばしを遊ばん  
 業に萎えし 身を 憩はせん  
 來よや友よ 樹蔭に しばしを歌はん  
 たのしうれし 稚き日の よき歌を  
 ほつえの葉蔭にすだくは 夏蟬の歌の調  
 聲きそふ二つ三つ 涼風もひびき善しや  
 來よや友よ 樹蔭に 我等も歌はん  
 たのしうれし 稚き日の よき歌を

# 旅の明暮

Moderato. (♩ = 80)

一. カリネノユメ ムスバヌニ ハヤモシラム  
 二. まつのみねに ひはおちて はやもくるる

Moderato. (♩ = 80)

*p*

タビノマド  
 たびのそら

カナタヨリア ケヲツグル トリノコエカ ネノヒビキ  
 ちまたにはい ろもはゆる のきごとのと もしあかし

*cresc.* *dim.*

アワタダシキ タビノユメ ムスビア  
 あなるはし たのくれ みるもき

アワタダシキ タビノユメ  
 あなるはし たのくれ

*p*

へズ ハ ヤ サ メ ヌ マ ド ベ ニ タ チ  
 く も み な た の し を か ベ に た ち

ムスビアヘズ ハ ヤ サ メ ヌ マ ド ベ ニ タ チ  
 みるもきくも み な た の し を か ベ に た ち

*cresc.*

ナガムレバ ミナレヌヤーマ ノキニセ  
 ながむれば まちのうねーり ひかりあ

ナガムレバ ミナレヌヤーマ ノキニセ  
 ながむれば まちのうねーり ひかりあ

*mf* *p* *cresc.*

マ リ ユ キ キ セ ハ シ ヒ ト ノ カ ナ  
 ふ れ ゆ め の ご と く お と も ー な

マ リ ユ キ キ セ ハ シ ヒ ト ノ カ ナ  
 ふ れ ゆ め の ご と く お と も ー な

*dim.*

旅の明暮

<p>二</p> <p>松の嶺に 日は落ちて 早も暮る、 旅の空 巷には 色も映ゆる 軒毎の灯 明かし</p> <p>あなうるはし 旅の暮 見るも聞くも 皆たのし 丘邊に立ち ながむれば 街のうねり 光あふれ 夢の如く 音もなし</p>	<p>一</p> <p>假寝の夢 結ばぬに 早も白らむ 旅の窓 彼方より 明けを告ぐる 鶏の聲 鐘の響</p> <p>あわたゞしき 旅の夢 結びあへず 早さめぬ 窓邊に立ち ながむれば 見なれぬ山 軒にせまり 往來せはし 人の影</p>	<p>藤村 俊</p>
--	--	-------------



ルービンシュタイン (Anton Rubinstein, 1829 - 1894) 彼は  
チェコスロバキアに近いポーランド 地方の一寒村に生  
れた。母から音楽の教養を受けモスクーに  
出てピアノの教師についた。十歳の時初めてステージに立つ  
て成功し、翌年師と共にバリーに旅行し、此所で當代のピア  
ノ第一人者リストに見出され、彼に師事した。その後歐洲を  
遍歴し大に得る所あり、露國に歸つてチャイコフスキーの如  
きを啓發しつつ演奏に、作曲に専念した。彼はドイツ中心に育てられた近代音  
樂から蟬脱してロシア國民樂の獨立を宣言しロシア歌劇の數曲を發表した。作  
品としては交響曲、ピアノ曲、歌謠曲等多數あるが、ロシア音樂開拓者として  
の功績は一層有名で、猶此の運動に努力した人々は彼の前に格林カ、彼の後  
にチャイコフスキー、一層ロシア音樂の樹立につとめたセザール・クエイ、ボ  
ロディン、リムスキー・コルサコフ、ムソルグスキー等がある。

[鑑賞]

天使

Moderato.

12.

ふるさとの夢

Largo. (♩ = 48)

mp  
con 2<sup>do</sup>  
pp

p  
ゆめはたのし ふるさとの ふるきまよのおもかげに  
ゆめはたのし ふるさとの ふるきまよのおもかげに

pp  
pp

mp mf  
いまはあらぬ ともびとも ながれきよき かはのべに  
いまはあらぬ ともびとも ながれきよき かはのべに

mf

p cresc. molto ff f  
ほたる おひて たはふれぬ ゆめはたのし ふるさとの  
ほたる おひて たはふれぬ ゆめはたのし ふるさとの

pp ff f p

pp p legato pp  
ふるさとの たのし ふる  
ふるさとのゆめ

pp pp pp

f ff  
さ と の ゆ め

ff ff



*p* *ff rit.* *molto* *pp*

なほわ がこころ ね よー  
 いくやまかはをへだつれどわ がこころ ねーよ

*p* *ff rit.* *molto* *pp*

いくやまかはをへだつれどわ がこころ ねよ

*cresc.* *ff rit.* *dim. rit. molto* *pp*

**Tempo I.** *pp*

やすきいこひとむるとて  
 むつらのほしのまたたけば やすきいこひとむるとて

*pp* **Tempo I.** *dim.* *pp*

むつらのほしの やすきいこひとむるとて

*p*

よごとかよふふるさとの やれしまど

*p*

よーごどかよふふるさとの

*sf* *p* *pp* *pp* *pp*

あ まどべならでいづくにか 遅く ころやすらふ

あ まどべならでいづくにか 遅く ころやすらふ

*pp* *pp* *pp* *pp*

遅すぎぬ様 *pp*

かげやある かげやある

*mp*

あはれ あはれ かげやある

遅すぎぬ様 *pp* *ppp* *ppp*

*pp*

ころの わがふるさとよ

*pp* *pp* *ppp*

ころの わがふるさとよ

[鑑賞]

吾が母の教へ給ひし歌

Andante con moto.

13.

ふるさとの夢

夢はたのし ふるさとの  
 故きまゝの 面影に 今はあらぬ友人も  
 流きよき川の邊に 螢おひてたはぶれぬ  
 夢はたのし ふるさとの ふるさとの  
 たのし ふるさとの夢  
 幾山河を へだつれど  
 なほ わが こゝろねよ  
 六連の星の また、けば  
 安き息ひ 尋むるとて 夜毎かよふ ふるさとの  
 破れし窓 あゝ 窓邊ならで いづくにか  
 心やすらふ蔭やある 蔭やある(あはれ蔭やある)  
 心の わがふるさとよ

水田詩仙



ドボオルシャック (Anton Dvořák 1841 - 1904) チェッコスロバキアの代表的作曲家である。父はミュルハウゼンの旅館の雇人で、彼は農業に従事し最初屠牛者となる筈であつたが、樂才に長じ寸暇を得ては音楽の練達に勉め遂にブラーグ歌劇場所屬の樂員となり、後作曲に専念す。次第に名聲を博し、1891年英國を訪問してケンブリッジ大學の音楽博士に推され、ブラーグの音楽學校教授を経てニューヨーク音楽學校長として招聘せられた。此の間アメリカに於ける土人音楽を研究し、「新世界より」(From the new world, Op. 95)等の名作を發表した。その他「スラブ舞曲」「ユモレスク」等知られた曲が多い。その作風は民族調を失はず、豊富にして變轉極りなき樂想は特色あるものである。

[鑑賞]

ユモレスク

Poco lento e grazioso.

14.

(後略)

[鑑賞]  
セレナーデ

15. Allegretto cantabile.

[鑑賞]  
セレナーデ

16. Moderato.

[鑑賞]  
トスティのセレナーデ

17. Andantino.

# 富 嶽 の 頌

Maestoso. (♩ = 108)

(三部合唱の場合)

Maestoso. (♩ = 108)

(四部合唱の場合)

Maestoso. (♩ = 108)

一. コク ウ ニ ソ バ ー ダ ツ フ ガ ク ノ ユ ウ シ ミ ネ  
 二. は く う ん が ん ー か に ふ が く の て う ば う ふ よ

一. コク ウ ニ ソ バ ー ダ ツ フ ガ ク ノ ユ ウ シ ミ ネ  
 二. は く う ん が ん ー か に ふ が く の て う ば う ふ よ

ニウハセシコノハクツセナツオホヒリトウ  
 うのはちほうなつなほこほりみお

一. カロ イ ス バ シ マ リ ネ ニ ハ ソ ム ノ キ ヲ フ ル フ コ レ  
 二. み お カロ イ ス バ シ マ リ ネ ニ ハ ソ ム ノ キ ヲ フ ル フ コ レ



# 吾等が精銳

Allegro marziale. (♩ = 108)

Piano introduction in G major, 4/4 time. The right hand features a rhythmic pattern of eighth notes with triplets, while the left hand provides a steady accompaniment. Dynamics include *f* and *mp*.

Vocal line 1: *f* オ、キケヤ ヒビ クラッパノネ

Piano accompaniment 1: *mp* and *f* dynamics. Features a rhythmic accompaniment with triplets in the right hand.

Vocal line 2: *mf marcato* アヲゾラニコダマーシテ  
ワレラガセイエ

Piano accompaniment 2: *mp marcato* and *mf* dynamics. Continues the rhythmic accompaniment with triplets.

Vocal line 3: イ ムテキノホマレアル セイギトガウキニ  
セイエイム テキノホマレアルセイギトガウ

Vocal line 4: *mp* モユルワカキユウシキタル ワレ  
キニモユルワカキユウシキタル

Vocal line 5: ラガクウグンニナフハシンエイヲセ  
ニナフハシンエイヲ  
ワレラガクウグンニナフハシンエイヲセ

*sempre f*

カ イニホコルヘ イキア フーゲヨクウ  
クウ

ーカイニ ーホコルヘ イキア フゲ ヨ ア

グン ー ニオキケヤ ヒビクラッパノネ

グン  
フゲクウグン ニオキケヤ ヒビクラッパノネ

テコダマシテ *ma marcato*  
アヲゾラニコダマシテ ー サヂンハヒ

アヲゾラニコダマシテ ー サヂンハヒラオ

ヲオヒクツオトミミマツクキフウダウダウ

マヒクツオトミミマツクキフウダウダウ

ツヅクス マンノウウーシワレラガク

ツヅクス マンノウウーシワレラガク

ニンムハオモシセカイノ

ウグンニンムハオモシセカイノ

グン ニンムハオモシセカイノ

イ ワ ノ マ モ リ ゾ タ ターヘヨバン バン ザイ  
 ーイワノ マ モ リ ゾ タ ターヘヨバン バン ザイ  
 イ ワ ノ マ モー リー ゾ タ ターヘヨバン バン ザイ

我等が精鋭  
 一 お、 聽けや 響く喇叭の音  
 青空に舒して(舒して)  
 我等が精鋭 無敵の譽ある  
 正義と剛毅に燃ゆる 若き勇士來る  
 我等が皇軍 擔ふは新銳を  
 世界に誇る兵器 仰げよ皇軍  
 二 お、 聽けや 響く喇叭の音  
 青空に舒して(舒して)  
 砂塵は日を覆ひ 靴音耳を衝く  
 威風堂々つゞく 數萬の勇士  
 我等が皇軍 任務は重し  
 世界の平和の守護ぞ 讚へよ萬々歳

水田詩仙

### 和聲學の概要

#### 〔一〕 和音の意義

和音と和聲學……西洋音樂は常に數箇の合成音の進行によつて構成されてゐる。同時に響く音程を異にする二箇以上の音の合成を和音(和絃)とよび、和音の性質及び進行を研究する學問を和聲學といふ。

#### 〔二〕 和音の音程

協和音程と不協和音程……和音を構成する音程には協和音程と不協和音程とがある。協和音程はその協和の程度によつて次の二種に分たれる。

完全協和音程	完全一度	不完全協和音程	長三度
	完全八度		短三度
	完全四度		長六度
	完全五度		短六度

協和音と不協和音……長短二度、長短七度及び各種の増減音程は融合の度に乏しく、之等を不協和音程といふ、和聲の進行は主として協和音程よりなる協和音を用ひ、之に不協和音即ち不協和音程を含む和音を適當に加味する事によつて變化を與へ表現を自由にする。

#### 〔三〕 三和音

三和音……ある音の上に、三度毎に重ねた三箇の音の和音を三和音といふ。

三和音の基礎となる音を根音といひ、三度上にある音を三音、五度上にある音を五音とよぶ。

三和音の種類……三和音は三度と五度の状態によつて長三和音(長三度と完全五度)、短三和音(短三度と完全五度)、減三和音(短三度と減五度)、増三和音(長三度と増五度)の四種に分たれる。



〔四〕 長音階上の三和音

長 短 短 長 長 短 減 長

I (主和音) II (上主和音) III (中和音) IV (下屬和音) V (屬和音) VI (下中和音) VII (導和音) I (主和音)

和聲研究の便宜上、三和音の根音の位置とその種類とをローマ数字にて表はす。長三和音は大文字、短三和音は小文字、減三和音は小文字の右上に圈點を付け、増三和音は大文字の右上に〔+〕をつける。又長短の三和音は最も普通に用ひられる故之を普通和音とよぶ。

〔五〕 短音階上の三和音

短 減 増 短 長 長 減 短

I (主和音) II (上主和音) III+ (中和音) IV (下屬和音) V (屬和音) VI (下中和音) VII (導和音) I (主和音)

基礎和音……長音階、短音階の主和音、屬和音、下屬和音はその調性の確立に最も重要な作用を有するものである故、特にこの三種の三和音を基礎和音とよぶ。

〔六〕 四聲音部

四聲音部……和聲の練習には三和音中のある音を重複して四聲音部を作り、之を和音の基本として、その進行を研究する。

四聲とはソプラノ、アルト、テノール、バスの四部で、人聲の聲域を基礎として和聲の基本形態となすものである。

Soprano Alto Tenor Bass

女子高音 女子低音 男子高音 男子低音

〔七〕 原位和音と轉回和音

原位和音と轉回和音……各三度の音程によつて作られた三和音を原位和音といひ、下から根音、三音、五音の順に重ねられる。

三和音は二種の轉回をなす事が出来る。即ち根音を一オクターヴ上げる事を第一轉回といひ、更に三音を一オクターヴ上げる事を第二轉回といふ。そして轉回によつて生じた和音を轉回和音といふのである。

原位和音 根音 三音 五音

(六の和音) 第一轉回和音

(六四の和音) 第二轉回和音

六の和音と六四の和音……第一轉回和音は低音と高音とが六度の音程をなす故六の和音といひ、第二轉回和音は六度と四度とを有する故六四の和音といふ。

〔八〕 七の和音及びその他の和音

七の和音……三和音の上方に更に三度の音を加へる時は七の和音を生ずる。即ち根音と高音は七度の音程を示すものである。七の和音の中、最も普通に用ひられるものは屬音上に作られるもので、之を特に屬七の和音といふ。



七の和音も亦轉回和音が作られる。

九の和音と十一の和音……和音はこの様にして九の和音，十一の和音等も作られ，更に之等の轉回和音も作られるのである。

### 〔九〕 和音の進行

和音の進行……根音が移動する時は和聲音も従つて變化し移動しなければならない。この際ある和音から次の和音に連なり移つて行くことを和音の進行といひ，これには諸種の方則がある。

共通音……前後する二つの和音に共通する音を共通音といふ。根音を異にする二つの三和音間には次の三つの場合がある。

1 隣接せる根音の上に立つ和音間には共通音がない。

2 四度・五度の音程をもつ根音の上に立つ和音間には一箇の共通音がある。

3 三度・六度の音程をもつ根音の上に立つ和音間には二箇の共通音がある。

和音進行の方則……和音の進行にあつて注意すべき事は次の諸項である。

- 1 共通音ある場合はなるべく同度にとめて連結すること。
- 2 なるべく和音内の近い音に進めること。
- 3 四聲音部は同方向に進行せしめず，單純化を避けるため，各聲部をなるべく對照的に進行せしめること。



- 4 一般に完全五度・八度の並行進行(連續進行)，又は外聲に於ける完全五度・八度に入る並行進行(隱伏進行)は避けること。
- 5 五音は省略することが出来るが，三音は省略せざること。
- 6 根音を重複することは普通であるが，三音，特に導音は重複を避けること，五音は度々重複せられる。




### 〔一〇〕 和音進行の練習


和音の連合の方則によつて次の和聲を顛充すること。

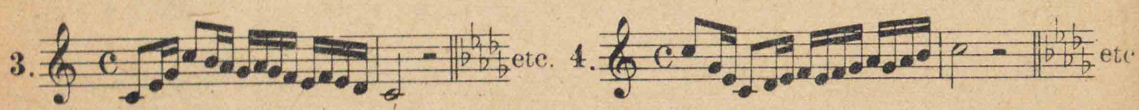



【附錄】一


發聲・音階練習


1. 


2. 


3. 


4. 

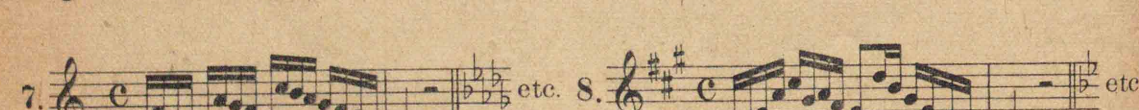
5. 

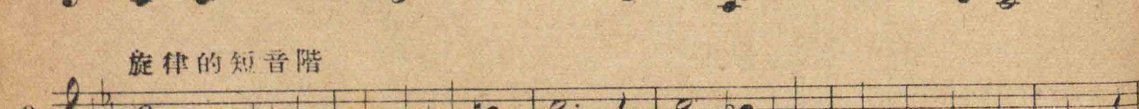
6. 

7. 

8. 

9. 

10. 


11. 


【附錄】二


音程練習

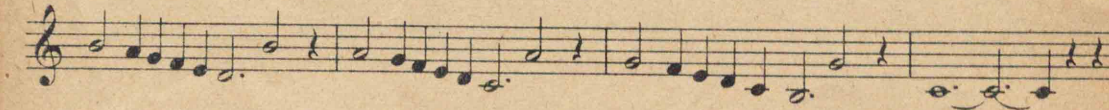
[コール ユーブンゲン 抜萃]


六度音程

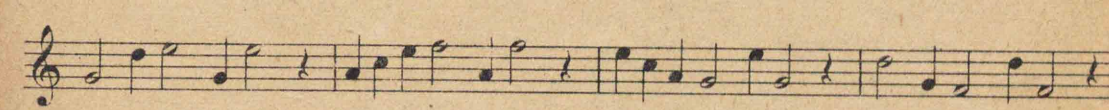
1. 

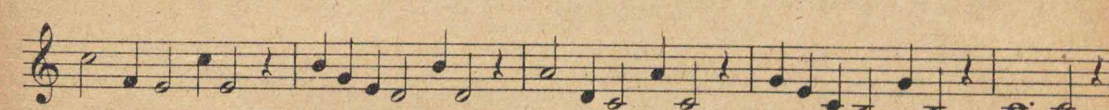
2. 


3. 


4. 


5. 


6. 



7. 



8. 



9. 



10. 



11. 



4.  



5.  

6.  


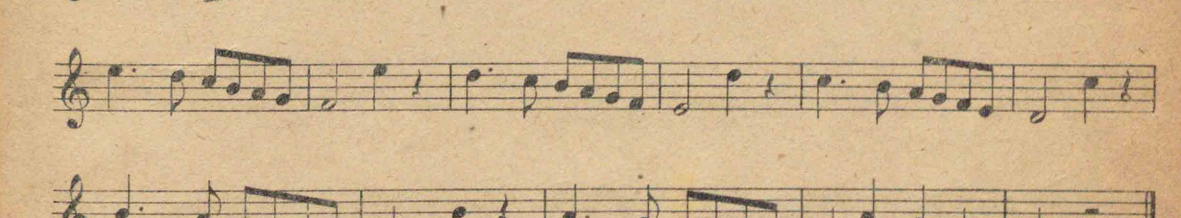
7.  

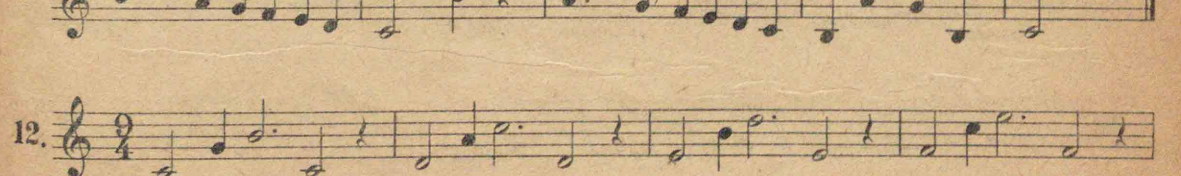
8.  

9.  

10.  

七度音程

11.  

12. 

Exercise 13: Treble clef, 4/4 time signature. Two staves of music. The first staff contains a sequence of eighth notes: C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5, followed by rests. The second staff continues with similar rhythmic patterns.

Exercise 14: Treble clef, 3/4 time signature. Three staves of music. The first staff features eighth-note triplets with accents. The second and third staves continue the triplet patterns.

Exercise 15: Treble clef, common time (C). Four staves of music. The first staff has eighth-note patterns. The second and third staves feature sixteenth-note patterns. The fourth staff continues with eighth-note patterns.

Exercise 16: Treble clef, 3/8 time signature. Two staves of music. Both staves consist of continuous eighth-note patterns.

八度音程

Exercise 17: Treble clef, common time (C). Two staves of music. The first staff shows a sequence of notes: C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5. The second staff continues with similar intervals.

Exercise 18: Treble clef, common time (C). Two staves of music. The first staff shows a sequence of notes: C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5. The second staff continues with similar intervals.

Exercise 19: Treble clef, 4/4 time signature. One staff of music. The first staff contains a sequence of notes: C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5.

Exercise 20: Treble clef, 3/4 time signature. Three staves of music. The first staff features eighth-note patterns. The second and third staves continue with similar rhythmic patterns.

Exercise 21: Treble clef, common time (C). Three staves of music. The first staff shows a sequence of notes: C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5. The second and third staves continue with similar intervals.



広島大学図書

0130449387



教

42

013